

## 大野市図書館の油漏れに関する報告

### 1 経緯

令和2年

- 12月3日 ボイラーのサービスタンクへの燃料自動補給装置が故障し、職員による手動補給に切り替えた。  
これによりサービスタンク内の重油の減少が判明した。
- 12月4日 油漏れについて確認した。
- 12月10日 油漏れの箇所が特定できたので応急処置を行った。以後サービスタンク内の重油減少がなくなった。
- 12月17日 漏洩検査を実施した結果、ボイラーからサービスタンクへの油戻し用配管からの油漏れが確定した。他からの油漏れはないことも確定した。
- 12月22日 図書館周辺5か所の住宅や施設の地下水を採取して水質検査を実施した。
- 12月24日 水質検査全5項目中4項目（ベンゼン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン）において異常がなかったと検査機関から報告があった。

令和3年

- 1月7日 水質検査5項目のうち残りの1項目、全石油系炭化水素（TPH）において異常がなかったと検査機関から報告があった。

法律に基づく点検は行っており、今回確認した場所は点検の対象とならない箇所だった。重油漏れがいつ頃から発生したのかは、不明である。少しずつ漏れ始め、発見時の470ml/時が最大量だと思われる。

市の他の施設について法定検査対象外の部分に異状がないことを確認している。

### 2 現在

水質検査の結果を受け、専門機関と協議し土壌調査の準備を進めている。

図書館はボイラーを使用停止し、ブルーヒーターによる暖房を行っている。

### 3 今後の方針

土壌の予備調査（資料等調査）を実施して本調査（現地踏査、土壌の採取により油漏れの範囲と深さを調査）を行う。本調査は温暖時の方が的確な調査が行える為3月に再度の水質検査とあわせて実施する。その結果によって油の除去を迅速に実施する。

